

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・契約高が、前年同月比で40%増加している。	
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・桜祭りを開催したところ、家族連れやお年寄りの来客が多数みられた。ただし、人出の割には売れるのはサービス品ばかりで、商店街の売上の増加には結びついていない。	
	やや良く なっている	一般小売店〔金 物〕（経営者）	販売量の動き	・農業関係の客が増加している。	
		スーパー（経営 企画担当）	販売量の動き	・4月は青果物及び食肉の売上が良くなり、客単価も上昇し、全体の売上は既存店で前年比101%となっている。	
		衣料品専門店 （統括）	販売量の動き	・今年は市制施行110周年に当たり、1年間はいろいろなイベント、関連行事がある。関連商品を扱っている関係で、例年より品物の動きが早い。	
		一般レストラン （経営者）	それ以外	・3か月前と比べ、特に土日の家族、夫婦での食事の客が多く、全体的な売上につながってきている。	
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・来客数が前年比で徐々に伸びてきている中で、4月は予想以上に伸びているので、やや良くなっている。	
		設計事務所（所 長）	来客数の動き	・3か月前と比べ、回収率は良くないものの、仕事が多く入ってきている。	
		変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数、販売量の減少、単価の低下がみられる。客は、できるだけ出費を少なくしようとしている。
			一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・業界内で不正表示が発表されている関係で、客の信用は依然として回復していない。
			百貨店（販売促 進担当）	単価の動き	・婦人衣料の動きが、気温の高かった3月に前倒しで好調であったため、4月は低迷している。 ・商品のまとめ買いが減少し、客単価も低下しており、厳しい状況は変わらない。
			スーパー（経営 者）	販売量の動き	・客の消費動向は相変わらず良くない。節約ムードから脱していない。
			スーパー（店 長）	お客様の様子	・客の来客頻度、買物かごの中の様子などに変化がない。
			スーパー（統 括）	単価の動き	・食品中心に低迷していた商品単価が、食品では完全に下げ止まり、衣料でも徐々に下げ止まりつつあり、底を打った感がある。
コンビニ（経営 者）	単価の動き		・新茶及びハーブの予約は、前年より若干上回っている。店側の積極的な売場展開次第で、30～60円の単価上昇は可能であり、環境は良くなりつつある。		
コンビニ（経営 者）	単価の動き		・客は目的の物だけを買いにきて、それ以外の物はあまり買わない。		
衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き		・来客数と販売量は、3か月前と比較すると増加しているが、前月と比較すると減少しており、明確な傾向がみえない。		
乗用車販売店 （販売担当）	単価の動き		・この3か月は新車、単価の高い車がほとんど売れず、単価の安い中古車の販売量が伸びている。		
その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（従業 員）	販売量の動き		・ガソリン、軽油等の燃料は、例年より販売量が若干減少しているものの、一部の商品で、前年並みに回復している。		
高級レストラン （店長）	来客数の動き		・例年、新入社員の歓迎会などの予約が増加する時期であるが、会社単位での予約は減少傾向にある。逆に、3、4人の少人数の予約が増加しており、全体では変わらない。		
一般レストラン （店長）	来客数の動き		・来客は単価の安いランチタイムに集中している。その他の時間の来客数は微動だにしていない。		
観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き		・観光客の動向は前年より活発であるが、地元企業の利用は少ない。		
タクシー運転手	お客様の様子	・桜の開花が早かった関係で、例年と比べ、4月の花見客は2割程度減少しており、厳しい状況は変わらない。			
タクシー運転手	お客様の様子	・電車やバスを利用するために、早めに帰る花見客が目立ち、タクシーの利用は少ない。			
通信会社（社 員）	販売量の動き	・4月より第3世代携帯電話のサービスが開始されたが、新規契約、買い替え需要とも対前年比で低迷しており、市場そのものが広がっていない。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	お客様の様子	・レストラン、ホテル等の乗客数が落ち込んでおり、客単価も低下してきている。厳しい状況に変化はない。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・若者の入り込みは依然として好調であるが、ファミリー層の来場者数の伸びが鈍化してきている。
		ゴルフ場（従業員）	競争相手の様子	・業者間の値下げ競争があり、お互いの首を絞めているので、良くはならない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・入学式で、髪に関心のある客が増加しているが、売上はそれほど増加していない。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・以前は業務用関係の建物は少なかったが、店舗関係に動きが出てきている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・客は問い合わせをし、検討はするものの、成約に結びつかない。4～5年前と比べ、客の予算が500万円ほど少なく、在庫の分譲地が売れない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔金物〕（経営者）	来客数の動き	・長引く建設不況で、フリーの職人の来店が減少している。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競合店の特売チラシのサイズが大きくなり、回数も増加している。チラシの中の売価は低下してきている。
		スーパー（営業企画担当）	単価の動き	・来客数は前年比95%以上となっているが、客単価は同70%である。月によっては70%を割り込む月もあり、客単価及び1点単価の落ち込みは、かなり厳しい。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・この3か月では、来客数が前年比92%であったが、4月は同90%となっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・前年のリサイクル法施行で売上が減少した4品目について、売上は増加していない。ワールドカップ需要が見込まれるテレビも、さほど動いていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数が前年比70%に落ち込んでおり、特に高額車の販売減少が著しい。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・4月の始めに開催した8回目となる展示会は、来客数が変わらないのに、販売台数は過去最悪となっている。
	悪くなっている	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼間の乗客数は前年並みに戻っているが、夜の乗客数は減少している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・祭りをしても、売上がやっと前年並みという状況で、客も少ない。
百貨店（販売促進担当）		競争相手の様子	・車で30分の距離にある百貨店でクリアランスが開催されており、その影響を受け、売上は不振である。	
コンビニ（店長）		来客数の動き	・新規オープン的大型競合店や再開店したスーパーの影響を受け、来客数が非常に落ち込んでいる。	
企業動向関連	良く なっている やや良くなっている	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊単価が前年比で500円程度下がっている。宴会は、客側の予算で料金を指定され、やむを得ず安い料金で受けている。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・販売数量はわずかに増加しているが、依然として低価格品を主体とする販売となっている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新しい案件が出てきている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品を中心に受注量が回復してきているが、建設機械、油圧機器業界では、コストダウン要求ばかりで、回復の兆しがみられない。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度になり、学校行事などの増加や新商品の売行き好調により、飲料水部門の収益が増加している。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3～4月の受注量は横ばいで、下げ止まり感があるが、5～7月はかなり厳しい。仲間の会社でも、仕事がなくて右往左往している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・4月に開催した宝石展示会では、入場者は前年比98.5%であったが、売上は前年をわずかに上回り、好感触を得た。その後の取引先回りでは、通常の仕入れは依然として厳しく、売上増にはつなげっていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末を過ぎ、官公庁の発注はほとんどゼロに近い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の売上の回収で、待たされることが若干少なくなった反面、支払いでは、現金での支払い要求が多くなっている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・チラシの出稿量は、3月に続いて前年並みとなり、下げ止まってきている。 ・取引先の百貨店や小売店では、早い気候の変化に合わせてそろえた半袖衣料が、急な冷え込みで約20%落ち込み、全体の売上は伸びていない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・業績が落ち着き、わずかに安定感が出てきている。曲がりなりにも、前年同様の実績は確保している。
		その他サービス 業〔情報サービス〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・情報化投資について格段の変化はない。全体を通じて、客の予算が厳しくなっており、引き合いは多いが、収益面では現状維持が精一杯である。
やや悪くなっている		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量が減少し、価格も低下している。更なる値下げ要請が出ている。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・大手企業を中心に、新年度の年間契約が10～20%近く減少しているが、新規のスポットコマースの引き合いが、流通業、商業中心に出てきている。
悪くなっている		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・何もかも海外生産に移行しているために、受注量、単価ともに、最悪の状態である。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少が依然として続いており、4月の受注量は、前年同月比で約20%、前月比で約30%の減少となっている。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が27%増加し、求人数も11%の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年比で、新規求職者数が10%増加し、新規求人数は10%減少しているものの、一時期途絶えていた機械器具製造業などの求人、わずかではあるが始まっている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が今一つ伸びない。街の様子もやや活気がない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺の中小企業で、希望退職者を十数人から数百人募っている製造業が多く、求職者増加の悪循環に陥っている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・4月に入り、派遣登録の希望者が急増している。業務内容、賃金への不満による派遣先の変更希望ではなく、年度末で契約を打ち切られた結果である。特に、40～50歳の働き盛りの男性で、登録が目につく。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業の倒産、閉店が多くなってきている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・管内大手電機メーカー及びグループ企業の大規模なリストラ策の実施により、6月末までに千八百余名の離職者が発生する予定である。非自発的離職者の求職者が増加する一方、求人ではパートが全体の46%を占めており、雇用環境は一段と厳しさを増している。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・新年度が始まったが、特に目立った求人はなく、依然として厳しい。
	悪くなっている		人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き